

# ニュースレター

## 「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくり」

拠点づくりに向けた人づくりの活動として、ユースチームの取り組み報告です

### 【開催報告】 ユース活動発表会 2022in エコメッセちば

環境パートナーシップちばは、ユース世代が環境活動に取り組むことにより地域の課題に気づき、解決するための力をつけることが大切だと考えています。そのため、昨年に引き続き、ユースボランティアと地域の環境活動に取り組む団体のマッチングを行いました。

チラシを県内高校・大学の校舎に掲示してもらったところ、昨年よりも多くの応募があり、5つの団体と22名のユースに参加してもらうことができました。

9月から10月にかけて受入団体と参加者の交流会により「ふりかえり」をしたあと、人と人との繋がりによって醸成されていく「未来に向けての対話」として、下記内容の発表会を開催しました。

日時：10月23日(日) 13:30~15:30  
会場：エコメッセ2022inちば  
(幕張メッセ国際会議場2階) 202室&Zoom  
参加者：会場 26名 Zoom 6名  
内容：



夏休みユースボランティア募集チラシ

題目	感想など
●基調講演： ユースへのメッセージ (一社) Change Our Next Decade 代表 矢動丸琴子さんから	ユースへのメッセージとしていますが、『まず、場に自分をおいてみる』『1歩を踏み出す、ちょっとした勇気』といった誰にも通じる、力強くもあたたかいキーワードをいただきました。
●ユースボランティア体験活動に参加して  ・いすみライフスタイル研究所 ・シェア里山~ヤマナハウス ・亀成川を愛する会 ・浦安三番瀬を大切に作る会	ユースや受入団体からは、それぞれに想いが感じられるコメントがありました。ユースはボランティアを、その先の進路や夢の実現のためのワンステップとしてとらえており、また、現在の学校生活だけでは得られない人とのつながりや新しい『体験』を求めています。
●セッション 全員参加の交流	想いに共感できれば、世代を問わず一緒にできるとのことです。

発表会後のアンケートでは、ユースと受入団体のマッチングだけでなく、ユースが自分の言葉で語る交流会、発表会の意義を感じていただいた事がわかりました。

私たちユースチームは、団体の想いに応えつつ、ユースがボランティア体験を通じて、それぞれの未来を変える行動を起こすきっかけになることを願い、この取組を進めました。

機会の提供という中間支援でしたが、私たち自身が『カラフルな人たち』の一部となり、『行動することが良い未来に繋がっていく』ことがわかり、清々しくも気持ちが引き締まるすてきな発表会でした。



会場の様子



当日の様子はコチラから

# SDGs・ESD 公開フォーラム開催報告

2022年度の『SDGs・ESDをひろげるための“ちば”北拠点づくり事業』のスタートとして、SDGs・ESD公開フォーラム『みんなでつながる地域拠点を創ろう』を7月3日(日)に、さわやかちば県民プラザ(柏市)で開催し、会場21人、オンライン21人の方にご参加いただきました。

フォーラムの趣旨説明の後、SDGsを身近に感じていただくために、「活動」を通してSDGs・ESDを実践されている具体的事例を4つの団体・企業から紹介していただきました。

- 1) NPO法人 谷田武西(やたむざい)の原っぱと森の会 理事長 矢野真理さん
- 2) 柏市ストップ温暖化サポーター 代表 山田殖保さん
- 3) NPO法人 持続可能な社会をつくる元気 ネット 理事長 鬼沢良子さん
- 4) キッコーマン株式会社 環境部 浅井祥二さん



続いて、神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 教授 石井雅章さんから、『SDGs・ESDを“つなげて”考える』と題した次の内容の講演をいただきました。

最後に会場3グループ・オンライン4グループに分かれ、①活動報告から共感したもの、②地域、団体の課題、をテーマにグループワークを行っていただき、全体会で以下の共有をしました。

- ・企業からのお話を聞いて参考になった。
- ・高齢化その他の理由で担い手が少なくなくなり、子供たちを含めた世代・立場を超えた地域課題の発見と解決策の共有等の、伝え・つなげるしくみづくりが重要。

各グループの発表の後、石井さんから『企業・団体の活動にはそれぞれ何のために社会・地域に貢献するのかという目的がある。多様な人が集まり、交流し様々な共有をすることは、世代・立場を超えた“学びの場”になる。企業・団体の活動や目的を“学び”という観点で聞いてみると、自分の会社・団体の“学び”につながる。』というお話をいただきました。

今回の公開フォーラムを『ちば北拠点づくり』に向けたきっかけにしたいと思います。

## 報告 第1回企画・運営会議

日時：2022年7月6日(水)16:00~17:30

場所：千葉市生涯学習センター研修室3・オンライン

出席：12名 [会場：5名 オンライン：7名]

内容

ちば拠点づくり事業を展開していく中で、より具体的に見える活動を進めていくのが、企画・運営会議です。2021年度の事業を継続し、2022年度に発展していくために、9つのチームごとに協議、検討しています。

現実には、各自の多忙な活動にこのチームの活動も加わるので、ハイスピードで展開しているチームや、ゆっくり動いているのが現状です。ただ、目標が定まると、力を出し合える、頼もしいチームです。第1回の会議では、下記の9つのチームの進捗状況、これからの活動について話し合いました。

### 《2022年度チーム》

- |                       |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①SDGs ちばユース活動発表会      | ⑥ちば拠点のHPの検討                 |
| ②学校との連携事業             | ⑦SDGs・ESD実践プログラムハンドブック(仮)作成 |
| ③ESDプログラム公開体験会        | ⑧北拠点づくり会議                   |
| ④ESD地域リーダーブラッシュアップ研修会 | ⑨SDGs・ESDちば南拠点会議            |
| ⑤公開フォーラム・セミナー開催       |                             |

# 拠点づくり会議報告

2022年7月～11月まで3回の拠点づくり会議を開催しました。

ファシリテーター：石井雅章氏 神田外語大学 グローバル・リベラルアーツ学部 教授

	日時、会場	参加者、時間	テーマ	概要
第1回	7月3日(日) さわやかちば県民 プラザ & オンライン	会場：16名 Zoom：12名 時間：60分	参加者の活動 と課題を知る	主に自己紹介だけで終わりました。 活動での課題については、会議と同日に開催した公開 フォーラムからの意見も参考に、次回へとつないでい きます。
第2回	9月6日(火) オンライン	Zoom：20名 時間：100分 グループワーク： 4グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どんな地域 でありたいか こんな地域に なりたいな</li> <li>• 連携すれば 出来ること。 自分たちで出 来ることの アイデア出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもが幸せな社会。水辺に親しめる地域。 人を思いあえる社会。地域が持っているものを活かせる社会。 など、地域の具体的な視点や人間社会での課題などを踏まえての意見もありました。</li> <li>• 世代を超えて共感する場を設ける。 企業のゼロミッションを行政・市民とつなぐ。SDGs に取り組む大学とつながる。 人材を見つけるには、地域の祭りなどからでも知ることが出来る。 異世代を取り込み一緒にやれるもの→食・暮らしの視点を入れる。 などがありました。</li> </ul>
第3回	11月21日(月) 千葉市生涯学習 センター & オンライン	会場：21名 3グループ Zoom:11名 2グループ グループワー ク 時間：160分	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ありたい地 域を実現する ための拠点の あり方</li> <li>• 北拠点に必 要なもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 拠点のニーズはあるので、拠点を動かす人が重要。 拠点として一体感が感じられるテーマ。 安心・安全が担保される情報。 活動団体の生態系マップ。 若い人は50年先を語る。外来種テーマで共有の接点を見つける。</li> <li>• 暮らしの視点。文化・祭りでつながる。 学校との連携にキイマン。情報の可視化。 現場（足元）での体験。対話と拠点。 連携イメージを共有する活動風景（写真）。 当事者のニーズに御用聞き。 活動団体生態系マップ。</li> </ul>

今後の予定 第4回 (2023年1月下旬):拠点の機能、運用方法の検討・整理)

第5回 (2023年3月中旬):拠点設置)

## 開催報告 “SDGs・ESD ちば南拠点の会” 会議

SDGs・ESD 南拠点の会の会議第1回は4月18日(月)に開催し、情報交流やこれからの活動について話し合いをしました。

### 【第2回】

日 時：2022年7月12日(火) 13:00~15:00

場 所：富山岩井コミュニティセンター視聴覚室

出 席：5団体(6名)

(NPO 法人南房総エコネット、安馬谷里山研究会、olaga、ホテル&リゾート南房総、環パちば)

主 催：SDGs・ESD ちば南拠点の会

世話人：(特非) 環境パートナーシップちば

協議内容は、①南拠点 HP を活用する。②ESD プログラム体験会を南拠点のフィールドで開催(olaga) ③南房総市で環境・地域づくり・市民活動・事業者・行政などと連携して、「SDGs フェスタ in 南房総(仮案)」が出来たら良いな・・・等でした。特に③については次回(3回)の会議でも協議すること及び南房総市とも相談した方が良くとなりました。

※市への相談は、コロナ感染がやや落ち着いた10月4日(火)に伺いました。

### 【第3回】

日 時：2022年11月18日(金) 10:00~12:00

場 所：富山岩井コミュニティセンター講義室 A・講義室 B

出 席：10団体(12名)

NPO 法人南房総エコネット、安馬谷里山研究会、自然の宿くすの木、房総野生生物研究所、プロデザインスタジオ、ホテル&リゾート南房総、学生団体おりがみ、ガールスカウト千葉県、南房総市環境保全課、環パちば

協議に入る前に、各団体の主に今年の活動報告をしました。海ゴミとマイクロプラスチック、ホテル&リゾートの社員活動、まちづくり、ガールスカウトのイベント、エコメッセちばなど多くの活動を共有しました。いすみライフスタイル研究所から、地球環境基金の2018-2020年の活動がベストプラクティス賞を受賞!、のニュースもありました。これまでのSDGs・ESD 事業もつながっているようで、うれしくなります。

報告の中で、南拠点 HP を広く知ってもらうには? 団体がコラボして効果を出す・・・等協議内容へつながりました。広報は「房日新聞」の活用、若者向けには SNS の活用、HP と SNS の情報の役割など話し合いが弾みました。今後具体化が必要です。

主な協議は、①ちば南拠点 HP の利活用を進めるでは、南拠点 HP を更新・活用する。若者への配信は、学生の協力・支援が必要。②南拠点の会として、市民環境学習会(南房総市環境保全課・NPO 法人南房総エコネット)開催に向けて、協力可能な視野も入れて、市とエコネットの間でも進めて行く。以上となりました。

次回(第4回)は2023年2月に開催します。南拠点の会として具体化・見える化へ向けて協議していきます。

★SDGs・ESD をひろげるための拠点「南拠点」ホームページ★

<https://chibabasesample2.wordpress.com/>

お問合せ:特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

<https://kanpachiba.com/e-mail:info@kanpachiba.com> Tel:090-8116-

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

